

TOBACCO

NO.29 ('11.7)

産業史資料



「葉たばこ収納節」 (DVD付属)

清田康之・千葉信一

財団法人たばこ総合研究センター(TASC)

まえがき

表題の「葉たばこ収納節」は、実は本書を作成するに当たり、便宜上つけた仮称でしかない。収納節という特定の唄や曲があるのではなく、単に葉たばこの収納作業上必要な数字を作業の流れに合わせて、独特の節回しで、そして「符丁」をつけて読み上げたものに過ぎないからである。

そもそも「収納」とは、かつて大蔵省専売局、日本専売公社時代に、農家が耕作した葉たばこを農家の立会の元で、品質を鑑定し、重量を量り、代金を支払うという一連の売買行為を言う。現在は、たばこ事業法の下で、日本たばこ産業株式会社（以下JTという）と耕作者の間で契約栽培した葉たばこを売買する「買入れ」という方式になっているが、その基本は何ら変わっていない。

この収納の際、葉たばこ取扱所（俗称：収納所、以下収納所という）において、秤量係が葉たばこの葉分（着葉位置）^{はわけ}・等級・重量を独特の節回しで読み上げたものが（一部地域では鑑定書記も葉分・等級に節回しをつけて呼称した）「葉たばこ収納節」である。その起源は明らかではなく、勿論、作業手順書に載っているものでもなく、労働に伴い自然発生的に生まれたものと思われる。

収納節が唄われた意味は、4つほどあると解釈される。

- ①一包、一包流れ作業で進む収納作業のリズムに合わせるため。
- ②1（イチ）と8（ハチ）など、数字を間違わないよう正確を期すため。
- ③丹精込めて作った葉たばこがどう評価されるか、と気をもんでいる農家の緊張を和らげるため。
- ④重要な仕事ではあるが、流れ作業という単調な労働を紛らわすため。

収納節はこれらの必然性から、その場の雰囲気に合わせて収納従事員が即興的に読み上げたものであることから、時代により、また地方により、さらには担当する収納従事員によっても違うというバラエティに富むものであった。また、収納業務が手作業であったからこそ、このような人間的な行為が生まれたということもできよう。しかし、この収納節も、等級を決定する際の鑑定機器、重量を量る秤量機器などの機械化、自動化によって昭和40（1965）年代後半ぐらいから徐々に収納現場から消え去っていった。

TASC では、この消え去った一つの労働歌ともいえる収納節を JTOB による再現やアンケート調査により出来る限り採取し、記録としてまとめることとした。収納節が「口頭伝承」であるという性格上、時代的には昭和 30 (1955) 年代頃までしか遡れない憾みがあり、十分とは言えないが、たばこ産業史の新たな研究の嚆矢になれば幸いである。

なお、本書及び付属の DVD には重複するものがあり、また、現代では不適切な表現もあるが、その時代の記録としてそのまま残したものであることをご理解願いたい。

本研究は、研究所長 清田康之、特別研究員 千葉信一が担当した。

目 次

まえがき	i		
I. 収集した収納節の概要	1		
1. 時代	2. 地域	3. 収集資料		
II. DVD の構成	2		
<input type="checkbox"/> はじめに	<input type="checkbox"/> 仙台地方	<input type="checkbox"/> 水戸地方	<input type="checkbox"/> 岡山地方	<input type="checkbox"/> 熊本地方
<input type="checkbox"/> おわりに	<input type="checkbox"/> JT 岡山原料本部作成	葉たばこ鑑定の歌(囃子ことば)		
1. はじめに	5		
2. 仙台地方	14		
3. 水戸地方	20		
4. 岡山地方	24		
5. 熊本地方	30		
6. おわりに	38		
7. JT 岡山原料本部作成 葉たばこ鑑定の歌(囃子ことば)	41		
III. 収納節に関する情報	62		
1. 収集資料の概要	62		
(1) 符丁の内容	(2) 鑑定作業	(3) 秤量作業	(4) 収納作業全般	
2. 東北地方	64		
(1) 鑑定の流れとその情景				
(2) 秤量の流れとその情景				
(3) 収納現場とその情景				
(4) 読み上げ符丁の一覧				
(5) 収納作業における読み上げ符丁の例				
3. 関信越・北陸地方	75		
(1) 鑑定の流れとその情景				
(2) 秤量の流れとその情景				
(3) 収納現場とその情景				
(4) 読み上げ符丁の一覧				
(5) 収納作業における読み上げ符丁の例				

4. 中部・関西・中四国地方	85
(1) 鑑定の流れとその情景	
(2) 秤量の流れとその情景	
(3) 収納現場とその情景	
(4) 読み上げ符丁の一覧	
(5) 収納作業における読み上げ符丁の例	
5. 九州地方	91
(1) 鑑定の流れとその情景	
(2) 秤量の流れとその情景	
(3) 収納現場とその情景	
(4) 読み上げ符丁の一覧	
(5) 収納作業における読み上げ符丁の例	
6. JT 岡山原料本部作成版	109
葉たばこ鑑定の歌(囃子ことば)の収録について	
7. 収納に関する歌	123
(1) 葉たばこ収納行進曲	(2) 収納行進曲余話
IV. 参考資料	131
1. 昭和30(1955)年代の収納包装作業	131
(1) 葉たばこ取扱所	
(2) 収納包装作業の流れ	
2. 葉たばこの鑑定と標本葉たばこ	155
(1) 鑑定場所	
(2) 鑑定の手順	
(3) 標本葉たばこと葉分	
(4) 標本葉たばこと等級	
3. 葉たばこ生産の概要	163
(1) 耕作面積の推移	
(2) 耕作法の変化	
4. 情報提供者一覧	180
参考文献	181
あとがき	182



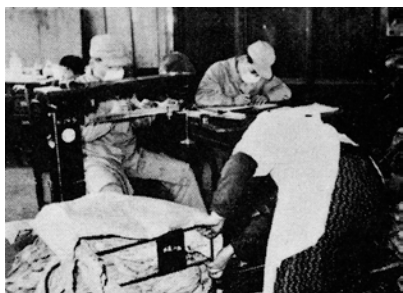
仙台地方の例

まず、仙台地方の例です。

へそれでは～と、これはジュウフタ円 50 銭なり

ジュウフタ円 50 銭なり～

ここでは、重量の単位をキログラムは「円」、0.5 キログラムは「銭」と言い換えています。



水戸地方の例

水戸地方は当時、在来種である水府葉、達磨葉、桐ヶ作葉の他、黄色種も耕作されており、いずれの収納時でも符丁を付けた言いまわしを聞くことができました。

へ土葉の 6 等～ 5.5 キロ浜の松風なり～

土葉 6 等～ 5.5 キロなり～

水戸地方では、重量を読み上げた後に、符丁を付けた表現となっています。



岡山地方の例

続いて岡山地方の例です。

へ続いて土葉では 5 等なり～、スーチャン未だに毛がないよ～

土葉 5 等 4 キロ丁度なり

ハイ そこなり

収納節は、女性に例えた色っぽいものも少なくありませんでした。

今では不適切な表現もありますが、記録として当時の模様を、そのまま再現してもらいました。



熊本地方の例

熊本地方はやや特殊で、通常は鑑定では、葉分・等級に符丁を付けた節回しは行いませんが、熊本地方では鑑定でも品質評価に値する符丁を付けていました。

へいよいよ^{あいちゅうは}合中葉となりました～、キレイどころは

京美人、犬も見そめて～ワンと鳴く～、中葉の

1 等な～り～



- 8
- ① ー
 - ② お次は青葉と参ります～、桃の節句のひな祭り～、そこそ中葉は～3等な～り～
 - ③ 出ました～中葉の3等なり、二八の蕎麦には薬味つき、フタジュウ8キロゴロ百じゃ
 - ④ 中葉3等フタジュウ8キロ500です
※中葉の票箋(仮包装札)が青色(実際は緑色)であったことから、青葉は中葉のこと
※3月3日の女の子の節句から3等
※二八の蕎麦の二八の数字から
※薬味が付いて、0.5kg プラスとなる



- 9
- ① ー
 - ② ハイ! たばこらしくなりました～、鑑定結果は下駄等な～り、ハイ! 中葉は2等賞と～参りましょう～
 - ③ またまた上がって中葉は2等なり、ニクイ心を持ったこともない ハイ! フタジュウ9キロポッキリじゃ
 - ④ 中葉2等フタジュウ9キロなり
※下駄の歯は二枚であることから2等
※ニクイ心の二と九の語呂合わせから29.0kg
※ポッカーと同様に「丁度これまで」という意味から.0kg



- 10
- ① ー
 - ② いよいよ合中葉となりました～、キレイどころは京美人～、犬も見初めて～ワンと鳴～く、中葉の1等な～り～
 - ③ またまた上がって中葉の1等なり、30 後家さん彼氏が出来て喜んだ、30 キロそこそこよ
 - ④ 中葉1等30キロ丁度です
※最も高品質とされる位置に付いている葉を「合中葉」という
※ワンが英語の「one」の発音に似ていることから1等
※30 後家さんで30.0kg